

アジアの経済答案用紙

平成 16 年 7 月 20 日 2 時限	学科・学年	試験時間 60 分	持ち込み不可
学籍番号		氏名	

問 1 (20 点)

	首都	場所 (アルファベットで)
中国	北京	A
韓国	ソウル	C
北朝鮮	ピョンヤン	B
台湾	台北	D
香港	-	J
シンガポール	-	H
マレーシア	クアラルンプール	G
インドネシア	ジャカルタ	F
フィリピン	マニラ	E
タイ	バンコク	I

問 2 (全部正解で 5 点)

韓国	台湾	香港	シンガポール
----	----	----	--------

問 3 (全部正解で 5 点)

タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	シンガポール
----	-------	--------	-------	--------

問 4 (3 × 9 = 27 点 + 3 点 (おまけ) = 30 点)

A	韓国	B	マレーシア	C	台湾
D	インドネシア	E	シンガポール	F	中国
G	香港	H	フィリピン	I	タイ

問5 (1×20=20点)

1	エイサー	2	マルチメディア・スーパー・コリドー
3	3	4	WTO
5	FTA	6	台湾
7	タイ	8	イスラム教
9	アジア通貨危機	10	ハイテク産業
11	ノ・ムヒョン	12	大躍進
13	文化大革命	14	深セン
15	積極的不介入主義	16	円高
17	EU, NAFTAなど	18	比較優位の原理
19	保護	20	関税

問6 (10点)

東アジアの高度成長の原因は、基本的に「市場友好的」な経済政策をとったことにある。その後のアジア通貨危機の原因としては、当初クローニー資本主義や人為的にドルにリンクさせる政策だという論者もいたが、ヘッジファンドの巨額な損失が明るみに出た後では、「投機活動」の行き過ぎが原因だと考える論調が主流になった。

問7 (10点)

一番印象に残った映画、TV番組 ()

理由

